

# お母さんと骨折とカルシウム

埼玉県川口市立安行東小学校二年

鈴木

紫文

小学校のうんていから落っこちた

今まで生きてきて、一番いたかった

先生によばれたお母さんがとんできた

そのままぼくは病院につれていかれた

レントゲンを見たお医しゃさんよりも先に

「骨折ですね。」って、お母さんが言った

ぼくの右手はきれいにぼつきり折れていた

そのあととはじごく

折れた骨を元の場所にもどすために

お医しゃさんがぼくの右手を引っぱった

うでがちぎれるかと思った

「骨が折れちゃうよ！」って、さげんたら

「もう折れてるから！」って、あばれるぼ

くをおさえつけながらお母さんが言った

オニかと思った

でも、ちりようがおわったら

「ちゃんとなおるから大丈夫だよ。」って、

お母さんはせなかをやさしくなでてくれた

ぼくはやつとほつとした

お母さんもやつとえがおになった

お母さんもドキドキしてこわかったんだね

その日からぼくはカルシウムづけ

お母さんは牛にゆうや小魚、骨にいいもの

をたくさん買ってきた

おかげでぼくの骨は少し早くくつついた

まだゆだんできないけど

ぼくはもうすぐなおるとしんじてる

お母さん、ありがとう

骨折がなおったら

いっぱいお手つだいしてあげるからね

# 大すきちよきん

兵庫県姫路市立旭陽小学校一年

鶺鴒うがい

一有いちゆう

「お母さん、大すき」

と言うと、

「ありがとう。10年ごも言ってくれるかな。」  
と、おかあさんがわらう

6 + 10 = 16 さい

ちよつとわからないから、10年ごの分も  
今言っておこう

「大すき、大すき、お母さん大すき」

この「大すき」を、ちよきんばこに  
ためておいてね

# 最高の誕生日

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 六年

嶽間澤 がくまざわ

祈吹 いぶき

ぼくが学校から帰ると、お父さんが言った  
「お母さん、今日緊急手術したよ。しばらく入院するからね」

お母さんは先週からお腹が痛いと言って  
いた

ぼくの中にあつた心配と不安が一気に広が  
って

息をすると全部出てきそうになった

だからぼくは息と一緒にそれをぐつとのみ

こんだ

お母さんはきつと大丈夫

そう思っている

家で宿題をしている時

学校で給食を食べている時

夜眠る時も

何度も何度も心配と不安がおそってきて

ぼくの胸をチクチクさした

だからぼくは手をぐつとにぎって自分の胸

に押し当てた

ぼくも生まれてきてから何回も手術してき

た

そんなぼくにいつも付きそってくれたお母

さん

お母さんもこんなに心配でこんなに不安だ

ったのかな

お母さんはぼくの誕生日にようやく退院し

てきた

「いぶきの誕生日だからお医者さんにお願

いして、早く退院させてもらったよ」

そう言って笑うお母さん

お母さんの顔をひさしぶりに見たら

今度は胸が温かさでいっぱいになって

目がうるんでお母さんがぼやけて見えた  
だからぼくは顔を見られないようにして  
お母さんの荷物を持ってあげた  
そして思った

今日がぼくの最高の誕生日

# おかあさんのうで

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 一年

木下<sup>きのした</sup>

瑠梨<sup>るり</sup>

おかあさんのうでは  
ぶにぶにしてやわらかい  
どうしてかな？

おかあさんのうでは  
ひじをまげると

やまができてかたい

いつもおもしろいもつをもったり

わたしのことを

だっこしてくれているからかな？

おかあさんのうでは

つめたくてきもちいい

いつもみずをさわって

いるからかな？

そんなおかあさんのうでは

わたしのだきまくら  
おふとんにはいつて  
おかあさんのうでを  
ぎゅっとしてると  
あんしんしてねれる  
おかあさんのうでは  
まほうのうでだ

# お母さんのいない一しゅう間

愛知県 西尾市立中畑小学校 二年

倉地

一颯

お母さんは赤ちゃんが生まれるから一しゅう  
間入いんをした

「行ってらっしゃい。」

「行ってきます。」

ぼくは元気に学校に行った

かえつてくるとお父さんとおとうとしかいな

い

ぼくはきゆうにさみしくなった

お母さんからビデオでん話があつて

何かへんな気もちになった

となりでなきそうなおとうと

がまんしているのか何も話さない

でん話が切れてからおとうとはないた

ねむるまでずっとないた

「大じょうぶだよ。お母さんもがんばってる  
からね。」

ぼくも同じ気もちだった

ないたらおとうとがふあんになる

ぼくはがまんした

「おギャー、おギャー。」

一しゅう間

お母さんと赤ちゃんはかえつてきた

「よくがんばったね。ありがとう。」

ぼくをギューしてくれた

ぼくはホッとしてかたの力がぬけた

これからはみんないっしょだよ

# 一緒にすごした120時間

大阪府創価学園関西創価小学校 五年

林 はやし  
昌義 まさよし

突然ぼくとお母さんの中にコロナがやってきた。

ぼくは、いつもと変わらないが、お母さんは、日に日につらそうになっている。

ある日、お母さんは、ぼくのほほに手をあてて、「生まれてきてくれてありがとう」と涙を流した。

ドラマで死んでいく人がささやくシーンが頭にうかんだ。

ぼくは、あふれる涙をがまんしながら、「せんたく物たたまなあかんやん！仕事行ってしっかりかせがなあかんやん」と叫んだんだんだん消えていきそうなお母さんをぼくは、ギョット抱きしめた。

「笑ってくれるだけでいいから、ぼくのそばにいて」と心の底から願った。

ぼくにとつてお母さんは、とても大切な存在だと気づいた。

コロナと戦った120時間、

今は、いつもと変わらないにぎやかなお母さんがいる。

うるさいなーと思いながら、

ぼくも一緒に笑ってる。

# ながれぼし

岩手県北上市立和賀東小学校 一年

高橋<sup>たかはし</sup>

凜<sup>りん</sup>

はじめてみにいったながれぼし。

おとうさん、おかあさんとてをつないで。

そらにはたくさんのほし。

きれいだけど、そとはくらくて、

ほんのすこしこわくなった。

「さんにおなじながれぼしをみたら

かえろうね。」と、おとうさん。

ずっとほしぞらを見ていたら、

みんなのこえがそろったよ。

わたしのしんぞうは、

どきどきでいっぱいになった。

おかあさんのよろこんだこえで

こわいきもちどこかへいったよ。

こんどはたくさんみれるといいな。

# ママのおにぎり

岩手県北上市立笠松小学校 一年

高橋<sup>たかはし</sup>

未紗<sup>みさ</sup>

いつもおいしいおべんとうを

つくってくれるよ。

わかめごはんをにぎってくれるよ。

さんかくがたで2こ。

わたしのおなかがいっぱい

なるのにちょうどいいおおきさ。

ママはみさのおなかのことも

よくしってるんだね。

# ぼくはマッサージ屋さん

岩手県北上市立和賀西小学校一年

おぼら  
小原

かずま  
和真

おかあさんがつかれていたから

かたもみしてあげた

もみもみ もみもみ

ひじもつかって

ぐりぐりぐり

ついでにおなかも

むにむにむに

さいごに

おかあさんをぎゅっとして

ふくのおいをかぐ

ああ、おはなみたいでやさしいにおい

# おかあさんとバレーボール

岩手県北上市立和賀西小学校 一年

高橋

琴音

おかあさん、にここにこ  
わたしも、にここにこ

わたしは、

おかあさんとバレーボールをします

はじめのあいさつ

よろしくおねがいます

1、2、3、よしっ！

きあいをいれる

おかあさんがじゃんぶして

ボールをうってきた

わたしは、てとてをあわせて

ボールをボーンと

うえにかえす

やったあ

# ごりらのおかあさんじゃないよ

岩手県北上市立江釣子小学校一年

高橋<sup>たかはし</sup>史祈<sup>しおり</sup>

なつやすみに、キャンプにいったよ

おかあさんが、しゃしんをとったよ

みてみたら、ぼくは、

ごりらみたいにうつっていた

おかあさんも、ぼくも、おにいちゃんも、

みんなわらったよ

「ごりらみたい」

って大きなこえでわらったよ

ぼくが、ごりらのまねをしたら、

また、みんな大わらいしたよ

しばらくしたら、

おかあさんが、またしゃしんをみていたよ

じいっとみていたよ

もしかして、しんぱいしているのかな

ぼくは、ごりらじゃないよ

おかあさんは、ごりらの

おかあさんじゃないよ

だいじょうぶだよ

# ぼくは、はいたつがかり

岩手県北上市立飯豊小学校二年

長谷川<sup>はせがわ</sup>

拓真<sup>たくま</sup>

はこぶんだ。

おかあさんのにっこりがうれしいんだ。

おかあさんはいそがしい。

しごとからかえってくると、

すぐにごはんのじゅんびをする。

せんたくものもたたむ。

ぼくたちがおかしをたべていても、

いっしょにたべたりしない。

だからおかあさんの口におかしをはこぶ。

そうするとおかあさんは

「ありがとう。」

とにっこりする。

ぼくは、

「どういたしまして。」

と言う。

それがうれしくて、ぼくはまたおかしを

# たからもの

おねえちゃんといもうとになった。

岩手県北上市立笠松小学校二年

小原<sup>おぼら</sup>

楓人<sup>ふうと</sup>

「たからものなあに。」と聞かれて、

ぼくは、「かっでもらったおもちゃ。」

とこたえていた

おかあさんのたからものってなんだろう。

ふつうのおもちやじゃないよね。

よそう、いのちとかほう石とか。

「ママのたからものなに。」ときいてみた。

「たからものは、こどもたち。

ゆきなとふうととしおり。」

と言ってくれた。

「ほんとう。」ときいた。

「ほんとだよ。」

きょうから、ぼくのたからものは、

おかあさんとおとうさんと

# みてしまう

岩手県北上市立南小学校 二年

寄松よりまつ

大冨たいが

うれしい…

ぼくは、ひまなとき

おかあさんを

ちらちら みてしまう

おかあさんは、

いつも なにかをしている

うたをうたったり

きんトレをしたり

たのしそう

おかあさんを見てみると

わらってしまう

わらっている ぼくをみて

おかあさんもわらっている

ぼくは、わらっているおかあさんを

みてしまう

# お母さんのギューツ

岩手県北上市立照岡小学校 三年

菊池

心乃

学習発表会

何かにちょうせんしようとする時

でも なかなかゆう気が出ない時

ふあんな時 あまえたい時

わたしがピンチの時は

いつでも

「おいで」 ギューツ

何回も助けられた

九年間わたしはこれに

「おいで」 ギューツ

三才のたん生日に

入いんしてしまい

パーティーができなくなった時も

「おいで」 ギューツ

一年生の時のマラソン大会で

スタートでころんでしまい

くやしくてないた時も

「おいで」 ギューツ

ピアノ発表会

運動会

学習発表会

何かにちょうせんしようとする時

でも なかなかゆう気が出ない時

ふあんな時 あまえたい時

わたしがピンチの時は

いつでも

「おいで」 ギューツ

だんだん そのギューツも

おんぶやだつこも

手をつなぐことも

へってきたけど

まだまだあまえさせてね

そしたら わたしはがんばれるから

十年目もよろしくね お母さん

# やめてほしいのにやってくる

岩手県北上市立黒岩小学校三年

平<sup>たいら</sup>健汰<sup>けんた</sup>

お母さんはいつも

ぼくの前がみを上げてくる。

ぼくはおでこを出すのはいやだ。

「やめて。」

といってもやってくる。

食べているときでもやってくる。

なんと言ってもやってくる。

「なんでやるの。」

と聞いたらば、

「かわいいから。」

とお母さん。

前がみを上げるのはきらいだけれど、  
かわいいならしょうがないな。

なんだかちよつとうれしくなった。

# ぼくだけのお母さん

愛知県 西尾市立中畑小学校 三年

稲垣 いながき 大地 だいち

夜ねるとき

お母さんは

ぼくにせなかをむけて

弟のあーちゃんの方をむいてねる

「ねえお母さん こっちむいて」って

ぼくが言って

お母さんがこつちをむくと

すぐにあーちゃんが

「お母さーん」っておこりだす

お母さんは またぼくにせなかをむける

ぼくだってお母さんにこつちをむいてほしいのに…

でも

あーちゃんはまだ五さい

あーちゃんがゆうせん

しかたない もうねよう

そう思っていたら

「だいちゃん 早くねなさいね」

お母さんがぼくの方をむいた

あれ？

そうか あーちゃんねちゃったんだ

ここからは ぼくだけのお母さん

お母さんをひとりじめ

もったいなくて なんだかねたくないなあ

そう思ってたのに

どんどんねむくなってきた

あー ぼくだけのお母さんがおわっちゃう

また明日も ぼくだけのお母さんになってね

おやすみなさい

# お母さんとやったしょうぎ

岩手県北上市立和賀西小学校 三年

高橋<sup>たかはし</sup>

航生<sup>こうき</sup>

いつもは

お父さんとやっているしょうぎ

今日は お母さんとやった

お母さんも しょうぎは強い

ようち園のころ

なんとかかちたいと思ったけど

お母さんのさいごの一手に手も足もでない

でも 今日はいつもとちがう

金をとった

王手!

はじめてお母さんにとどめをさしたぞ!

うれしくなって

何どもししょうぎばんをたしかめた

「航生も強くなったね。」

と お母さんもなんだかうれしそう

かちまけがきまったのに

二人でうれしくなった

今日のしょうぎ

# おかあさんのとなり

岩手県北上市立飯豊小学校三年

吉田よしだ

悠瑠はる

ぼくは四人きょうだい

おかあさんのとなりはいつもとりあい  
ねるときはぜんいんいっしょ

おかあさんのとなりでねれるのは二人  
いちばん下のおとうとが毎日となり

だからとなりにねれるのはあと一人  
じゃんけんできめたりしてたけど

けんかになるからじゅんばんにした  
となりにねれるのは三日にいつかい

だけどいいんだ

みんなは気づいていないけど

ごはんのときはいつもとなり

だれかがきづくまでおしえてあげない

おかあさんのとなりはぼくのもの

# ひとつのりんご

鹿児島県鹿児島市立原良小学校 三年

増田<sup>ますだ</sup>

智優<sup>ちひろ</sup>

お母さんは言う

あなた達が一番のたからもの

お母さんは言う

妹も私も同じ、とくべつ大切なたからもの

でも時々

妹ばかりって思う

時々

私の方がとくべつなのかなって感じる

「私と妹、どっちが一番？」

むねがチクツとした

お母さん

困った質問でごめんなさい

「それはね。」

お母さんは言った

「りんごを半分に切って、

どっちがおいしいですか？」って

聞いているのとおんなじ。」

そう言って笑った

手にはりんごを持っていた

あの日から思う

お母さん

私も、お母さんが一番のたからもの

妹もお父さんも、私の大切なたからもの

だからお母さん、

私もお母さんも、妹もお父さんも

みんなおんなじ、

ひとつのまあるいりんご

私たちは、

愛にあふれた

ひとつのりんご

ついで。

お母さん、だいすき

# びっくりだ

大阪府和泉市立南池田小学校 四年

廣田<sup>ひろた</sup>  
夏<sup>なつ</sup>

かあがさげんだ

家の中の階段に セミがいた

自分も見に行く

びっくりだ

アブラゼミ

つかまえよう

こわいから 手が出ない

いきなり動くかも

びっくりだ

ゆう気が出た

手が出たら

いきなりとんだ

自分もさげんだ

びっくりだ

くつの中に入った

さげんだ声に

かあもびっくりだ

かあがくつをのぞく

またさげぶ

その声に自分もさげぶ

びっくりだ

かあと自分

指をさして わらったよ

わらいころげて

落ちそうだ

手はあきらめた

あみで取った

せつかくだし 写真にとろう

と思ったら とんでった

せみも びっくりしたかな

# いっしょ

岩手県北上市立立花小学校四年  
ルイス 然<sup>ぜん</sup>スカイ

ぼくの目とママの目

ぼくのとめとママのとめ

ぼくのかみの毛とママの毛

ぼくの好きな食べ物とママの好きな食べ物

ぼくの笑い方とママの笑い方

ぼくの怒り方とママの怒り方

細かい作業が好きなところ

絵が好きなところ

ようかいが好きなところ

これがぼくとママのいっしょ

これからもふえるといいな

ママとのいっしょが

# 少し待ってて

岩手県北上市立江釣子小学校 四年

高橋 たかはし  
慶寿 けいじゅ

「お母さん」

とよんでも

「少し待ってて」

と言われる

少ししてから

もう一度よんだ

「もう少し待って」

と言われた

しばらくして

もう一度

よんでみた

「あと少し待ってて」

だって

少し

もう少し

あと少し

お母さんの

少しとは

いったい

何分なんだろう

ずっとなぞ

いそがしいんだね、お母さん

でも、

何分たっても、必ず

話を聞いてくれる

お母さん ぼく

待ってるからね

# 天気

岩手県北上市立照岡小学校 五年

千田<sup>ちだ</sup>

瑛心<sup>えいしん</sup>

朝早く仕事に行く時ぼくにあいさつだけして  
走って飛び出していくお母さん。  
風みたい。

ぼくの話聞いてニコニコしているお母さん。

今日は晴れるといいな。

晴れみたい。

ぼくがケガしたとき泣きそうになりながら心

配しているお母さん。

雨みたい。

ぼくがいやなことがあって悲しんでいる時、

何があったんだらうとなやむお母さん。

くもりみたい。

ぼくがゲームをやりすぎるとおこるお母さん。

カミナリみたい。

# 大切な家族

岩手県北上市立和賀西小学校 五年

今野こんの

友月ゆうづき

青い羽をパタパタさせる

「遊ぼうよ」って

言ってるみたい

おなかがすいたとき

口をパクパクさせ

かごの中を動きまわる

ぼくが「いってきます」って言うと

「ピー」と鳴く

どこかさみしそうな顔をして

ぼくが帰ってくるのまってね

ぼくが「ただいま」って帰ってくると

「ピーピー」と鳴く

「おかえり」と言っているようで

ぼくはうれしくなる

ぼくがねるとき

「おやすみ」と言うけれど

気持ちよさそうに寝ていて起きない

安心しているようで

それをみているようで

どんな夢をみているのかな

夢にぼくはできてきているかな

ぼくの夢にもきつとでてくるね

いろんな顔をみせてくれる

インコのヒーちゃんは

ぼくにとって大切な家族

いつもありがとう

そして

これからもよろしくね

# 私を変えた十日間

大阪府創価学園関西創価小学校 五年

武田<sup>たけだ</sup>

佳代子<sup>かよこ</sup>

私は、お母さんが大好き

何でもすぐにたよってしまう

「お茶をちょうだい」

「おやつはまだ？」

自分でできるのについついあまえてしまう。

ねる前のおしゃべりも大好き

お母さんには、何でも話してしまう

「もうすぐ反こう期がくるよ」といわれる

でも、反こうなんかして

すこす時間がもつたいないと思う

この夏、事件がおこった

新型コロナナが、ついにわが家にやってきた

お母さんが感せんしてかくり生活が始まった

生活が一変した

あれもこれも自分でしないといけない

夏のクラブ活動の準備

洗たくやご飯のお手伝い、お風呂そうじ

そして一人でねること

お母さんの作った玉子焼きが食べたい

そんなことを考えながらふとんにもぐった

かくり部屋のお母さんとスマホで会話

通話を切るとまたさみしさがこみあげた

かくり生活は十日続く

お母さんには

いつもしてもらうばかりだったな

私はお手伝いをしようと決めた

お姉ちゃんに教わって玉子焼きをつくった

すめしにのせて玉子のにぎりずしにした

さっそくお母さんにデリバリー

直接はわたせないから

部屋の前に届けてスマホで連らく

「佳代ちゃんの玉子ずし最高においしいよ！」

お母さんの声をきいて私が元気になった

この十日間、何でも自分でできるようになった

お母さんへの感謝の気持ちは百倍になった

お母さん、いつもありがとう

健康第一だね

でもちよつとだけあまえさせてね！

# ポジティブな母

北海道札幌市立厚別通小学校 六年

よしだ  
吉田

さや  
桜彩

目の前で母が倒れた

私はすぐ手をにぎる

緊張の数十秒

この声が届くように

何度も何度も声をかける

倒れても倒れても復活する母

それから一年

原因がわかった

重い心臓の病気

母は手術をした

そして障がいを負った

母はこう言った

病気や障害の勉強ができて良かったと

私はこう言った

とにかく無事で良かったと

母の笑顔を見て安心する

前と何も変わらない毎日

私なら同じ風に思えるかな？

なんでそんなに強いんだろう

私も強くなりたいな

# ちびと母ちゃん

岩手県北上市立和賀東小学校 六年

及川<sup>おいかわ</sup>  
萌衣<sup>めい</sup>

子牛のちび

モーモーと鳴く

ちびの母ちゃん

頭にすりすり

ペロペロなめる

でっかいひとくち

ムシヤムシヤ母ちゃん

負けずに ちびも

モグモグ食べる

すっごい勢い水を飲む

母ちゃんゴクゴク水を飲む

ちびもいきおいよく

ゴクゴク ゴクゴク

水を飲む

バタバタはしゃぐ

元気に走る

母ちゃん ちびを見守るよ

静かに じつと見守るよ

なぜだか 夕方

ちびは 鳴く

夕焼け空でちびが鳴く

母ちゃん それ聞き

モーと鳴く

夕焼け空に 母ちゃんも…

夜になると スヤスヤねむる

ちびはスヤスヤ スヤスヤと

母ちゃんのとおりで ねむるんだ

母ちゃんも ちびのとなりで

スヤスヤ スヤスヤ

母ちゃん 一日ありがとう

ちび母ちゃん

ずっといっしょだよ。

# 母ちゃん本日も営業中

岩手県北上市立飯豊小学校 六年

清水<sup>しみず</sup>

月乃<sup>つきの</sup>

母ちゃんはそうじをしてくれる

毎日毎日きれいにね

母ちゃんは料理をつくってくれる

トントントンコトコトいい香り

母ちゃんはたまに

「ホンジツノエイギョウハ

シュウリョウシマシタ」と言う

ねてると思いきや

ネコがトコトコ足をスリスリ

「しょうがないなあ」と言っ

てエサをあげる母ちゃん

母ちゃん本日も営業中

# お母さんを半分

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 六年

森川 もりかわ

誠心 まご

私と姉は三才差

私と弟も三才差

だから私は姉か弟と一緒に小学校に通う

授業参観日、お母さんは半分ずつ見る

手を挙げて答えても後ろを見るとお母さん

はもういない

がっかりする

全部見てくれたらいいのに

運動会赤、白にわかれる

「お母さん赤と白どっちを応援する？」

「両方だよ」

応援もやっぱり半分

終わった後ほめられるのも半分ずつ

私だけのお母さんだったらいいのに

一人っ子の友達が少しうらやましい

でも、姉は優しい自まんのお姉ちゃん

弟は、ちよつとやんちゃでかわいい弟

大切な姉弟

中学校は、はじめて一人で通う

ちよつとさびしいかもしれない

でも楽しみな気もする

# 更年期 対 反抗期

神奈川県 川崎市立中野島中学校 一年

木村 きむら  
守 まもる

今日も、イライラ怒ってる。

昨日も、イライラ怒ってた。

そう、母ちゃんは更年期

一人でいつも、怒ってる。

料理してても、イライラ、イライラ

あんなに怒って楽しいの？

いつか、血管切れちゃうよ。

振り向くと、こっちはこっちで反抗期

兄ちゃん、返事は「うるせえな」

更年期と反抗期の戦いは

今日もはげしい

朝から晩まで、どなり合う

ボクはソファでしらんぷり

静かにアイスをペロリ食べ

二人の戦いながめてる

ボクも、もうすぐ反抗期

いつかはきつと、反抗期

母ちゃん、先にあやまっとくよ

「うるせえな」は本気じゃないよ

反抗期の合い言葉

兄ちゃんだって、本気じゃないよ

だから、母ちゃん落ち着いて

ソファで三人

並んでアイスを食べようね。

兄ちゃん、抹茶

ボクはチョコ

母ちゃんはスカッと爽快

チョコミント

## 母との会話

千葉県我孫子市立我孫子中学校一年

田口 たぐち

聖真 せいま

この作文を書くにあたって、母に、

「お母さんに感謝してることはあるかい。」  
と聞かれた。

「別に。」

と、僕が答えると、

「ないの？あるでしょ。」と母。

（ないわけじゃないけど言えないでしょ。）  
と、心の中で僕は思った。

「本当はないの？やっぺらんないわよ。」

（やっぺらんないってなんだよ。）  
とまた心の中で思った。

「昔はかわいかったよ。思春期？反抗期か？」

（また始まった……。うるさいな。）

「でも、元気に育てばいいか。」

（話が終わったらしい。短くてよかった。）

今度は言葉に出して言ってみようと思う。

「いつもけっこう感謝してます。」

# 母の夏休み

岩手県北上市立和賀西中学校 三年

菊池きくち

香琳かりん

母は看護師をしている

母の休みはいつもばらばらだ

そんな母が七日間の夏休みをとった

私の記憶では

こんなに長い夏休みをとるのは初めてだ

そんな母の夏休みは私と同時に始まった

家に帰ると母がいつもいる

昼もいる 夜もいる

ずっといる

昼起きている 夜寝ている

なんだか不思議だ

休み中送り迎えしてくれた

ごはんも作ってくれた

テレビを一緒に見ている

「他の家のお母さんは

こんな感じなのかな？」とちよつと思つた

母の夏休みが終わつた

またいつもの日常がやつてきた

## 強く生きる

岩手県  
岩手県立一関第一高等学校附属中学校三年

おの  
小野寺

たまき  
環

ママの髪がなくなった。  
それは覚悟していたことだが、  
あまりに突然だった。

「坊主のママもかわいいでしょ。」  
「えっ。」

顔を洗っていたママをブーツと見ていた私  
に気づいていたのか、  
洗った顔を拭いながらママは言った。  
一瞬とまどったがすぐに  
「うんっ。」と答えた。

たしかにママは私の自慢の美人ママだ。  
何気ない会話

そこには前から変わることはない  
いつも通りの母がいた。  
まるで何もなかったかのように。

ママは弱音を吐かない  
いっばい失敗するけれど  
ママは苦しくても泣かない  
涙もろいけれど

とつてもたくましく生きてる  
体は弱くなっちゃったけれど

私のママは　こんなに強い。  
誰もかなわないんだ。  
そんな人が近くに  
いる  
今までも、これからも心強い。  
私もママのようになりたい。

あとちよつとだよ

がんがなくなるまで

いっしょに頑張ろうね。